

令和7年度

第1回

越谷市立図書館協議会

《会議録》

日	時	令和7年5月13日(火)
		午後3時00分～4時30分
会	場	市立図書館 2階 視聴覚ホール

令和7年度第1回越谷市立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年5月13日（火）午後3時00分～4時30分
- 2 開催会場 市立図書館 2階 視聴覚ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員
正岡美樹議長、齋藤るみ副議長、須田俊弥委員、窪田弘子委員、
清村千佳子委員、中嶋優委員、五味田真紀子委員、萩原誠司委員、
若林由美子委員
 - (2) 事務局
濱田図書館長、中野副館長、立澤主幹、松井主査
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 内 容 以下のとおり

<議事要旨>

- 1 開 会
- 2 議 事

* 越谷市立図書館協議会運営規則第1条第3項の規定により、議長は協議会の会議を主宰する。

2) 報 告 事 項

(1) 令和7年度事業計画について

- (事務局) 令和7年度事業計画について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (議 長) ご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

(2) 令和7年度予算について

- (事務局) 令和7年度予算について報告。
- (議 長) ただいま、事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。
- (委 員) 予算のことでお聞きしたいのですが、対前年度比が野口富士男文庫運営事業23%、移動図書館事業25%、図書館施設改修費21%とだいぶ昨年度より減っている点についてお話いただければと思います。
- (事務局) まず、野口富士男文庫の関係ですが、令和6年度は野口富士男文庫が開設されて30周年ということで、記念誌を作りました。その予算が280万円いただいたのですが、それはあくまで記念誌用で、予算をいただいた形となっていますので、今年度は例年通りの予算ということで、予算額が下がったような状態です。
- 移動図書館に関しましては、令和6年度に移動図書館車の1号車を買って替えまして、それが2260万円ほどかかったのですが、今年度買い換えるのが、軽自動車タイプなので金額的には500万円ぐらいになります。そのため、予算がだいぶ減りました。
- 工事の方は、その年によって壊れているところなど順々に直しているのですが、今年度、財政部門の方で認めていただいたのが、空調用の電源盤の改修工事です。去年は、空調設備のエアハンドリングユニットという、6600万円ほどの工事がありましたが、それが債務負担行為という方法で支払うという形となり令和5年度、令和6年度と準備等含めて2年間にわたった工事であり、令和6年度で無事に終了しています。
- 今年度認めてもらったのは動力制御盤改修工事の1500万円ほどで前年度と比べると減っています。
- (委 員) ありがとうございます。

(議 長) 移動図書館についてなんですが、1号車は今ご説明があった2000万円ほどで、確か2年度にわたって購入に至ったんでしたよね。

(事務局) はい。

(議 長) 今回、私もこの金額見て、今のご質問と説明えを聞くまでは、2号車もその例に倣ってその積み立ての一発目の金額なのかと思ったのですが、そうではないのですか。

(事務局) 大きいタイプの移動車ではなく、車の大きさ的には軽自動車タイプになります。

(議 長) 今、移動図書館は大きいのが2台ありますよね。

これまでも拠点の見直しをするなど、お話がありましたが、実際に4月からいくつか統合かな、広報でも見えていますけれども、そういった中で大きいのと、可動性がいい小さいものにして、いこうというような計画、というふうに受け止めていいのですか。それとも、例えば軽自動車を、もう1台追加で運用するとかですか。

(事務局) サービススポットによっては、道路部分に少し、はみ出してしまっていたりとかであまり長く停車していると通行の邪魔になってしまうと思われるところも現状としてあります。コンプライアンスが協調される昨今でもありますので、小さい車で小回りが利き、法律的にも問題なく運行できるのかなと思います

(議 長) 実態に合わせた対応ということですね。よくわかりました。

(委 員) お聞きしたいのですが、現在の移動図書館は、車の中に入ると両サイドに本棚があり、車内でも本を選べるようになっていますが、軽自動車タイプの移動図書館ではどうですか。

(事務局) 軽自動車タイプの新しい移動図書館は外側からは選べますが、中に入って本を選べるというようにはなっていません。

(委 員) わかりました。

(委 員) 図書整備事業の中の図書購入費について、先ほどご説明いただいた内容ですが、800万ほどですね、大袋の新地区センターに充てる予定ということで、その800万円の図書というのは大体どのような内容のものを考えていますか。

(事務局) 児童書の割合を多くする予定です。目安ですが、児童書・子ども向けの本に500万円ほど、300万円は一般の本といった割合にす

る予定です。児童書を多めに買いたいということで計画しております。

(議 長)

大袋の新地区センターは、いつできるのでしょうか。

大分、出来上がってきていますよね。

(事務局)

今のところとしては令和8年度完成予定です。工事の進捗状況などもあり、4月1日になるか分かりませんが、4月1日スタートを目指して工事をしているかと思います。

(議 長)

ということはその予算に充てているというのは、令和7年度中にそのオープンに向けた行動をしているというタイミングですね。

(事務局)

オープン前に新しい大袋地区センター・公民館の書棚に買った本を入れて準備しないといけないので、今年度中に本を買って大袋の現場に行き、本を配架し、使える状態にしておかないといけません。向こうのスタートがいつなるかによるかなとは思いますが。

(議 長)

楽しみですね。でもやはり子ども向けなのでしょうね。確かあそこはエリア的にファミリー層が多くなっているところですよ。

(事務局)

そうですね。ここ数年で子どもが結構増えてきた感覚がありますね。

(議 長)

通りも明るい雰囲気になりますね。

大きな公園も整備され、遊具などもあり、寄りやすい感じで楽しみです。

(議 長)

他にご質問はありますか。

では、私からいくつかよろしいでしょうか。

大体予算に関してはこのような質問が出るかと思いますが、職員人件費のところ、人件費の増減があるというのは、何かシステムが変わったとかがあったのですか。

(事務局)

人件費ですが、実際、前年度予算額は1億7000万円ですが、補正といいまして議会を経て、実情にあわせて減らすので、前年度は多めに予算をとっていました。

しかし、今年度はなるべく実態にあわせた数字にするという考えもあり、この予算額イコール決算額にはならないのです。人件費に限っては全部人事課の方で予算を組みますので、マイナス補正をしなくても済むように予算を組んだのだと思います。

予算は当然、職員の年齢が上がれば増えていきますし、昨年度の秋に賃金アップもあり、多分補正予算で調整するのを防ぐために算出し

たものではないかと考えています。

(議 長)

特別な何か、組織図の変更とかではないわけですね。

(事務局)

一つの理由としては職員が1人減となりました。

南越谷・南部図書室関連のために、職員が1人増員となっていたのですが、予定が流動的になったということで、定数に戻した形となります。

(議 長)

今、南部図書室のお話が出ましたけれども、例えば南部で職員の募集等あるかと思いますが、その人件費はここに当たりますか。

(事務局)

その人件費は別になり、委託料で支払います。

図書館としては将来的に各図書室を図書館で管理を出来ればと考えているのですが、現在、図書室はそれぞれ別の課が管轄しています。南部図書室は生涯学習課、北部図書室と中央図書室は、市民活動支援課が管轄しているところです。

(議 長)

ありがとうございます。

あと改修費のところで公開の照明をLEDに換えたのはいつでしたか。

(事務局)

LED照明に換えたのは令和5年度です。

(議 長)

今年度が空調設備ですよ。図書館内など綺麗に使われているし、手入れもされているかと思いますが、やはり年数が経っている建物なので、いわゆる修繕計画とかで、優先順位で今年はこれはやってもいいけど、これは駄目だよというように進んでいるのですか。

(事務局)

おっしゃるとおりで、図書館だけではなく、公共施設の管理計画というのを作成してしまして、令和7年度で一度切れるのですが、また令和8年度から新しい公共施設の管理計画がスタートし、その中でそれぞれの建物の劣化等について記載されており、それに基づいて毎年度要求するところは要求していき、その中で認めてもらったものだけでもきちんと確実に修繕していこうと考えております。

(議 長)

ということは、予算については単年度で申請して、認められる認められない両方ありますが、令和8年度から新しくなるということは、いわゆる中長期の計画というのは各課から出てくるものなのですね。

その上で令和8年度はいつ、こういったものを予定するという感じで出していくということですね。

計画がないと毎年、目先のものだけだとお互い取り合いみたいになってしまうという仕組みなのですね。

なにか縮小されていくのを見ると心配ですね。確かに一つ一つを見ると大きなもので、例えば車両購入等のことがあるから今年はそれで減ったりなどと分かりますが。

確認ですが、全体としていわゆる図書館に対して予算縮小の傾向に持っていかれているということではないですよ。

(事務局)

職員一丸となりそうならないように財政部門と話をしていきます。

(議長)

ありがとうございました。

他にご意見がないようでしたら次の議事に移ります。

(3) 令和7年度越谷市教育行政重点施策について

(事務局)

令和7年度越谷市教育行政重点施策について報告。

(議長)

ただいま、事務局から報告がありました。ご意見、ご質問等はございますか。

(委員)

南部図書室の書棚についてですが、本館ですと、小さい子の場合、お母さんが選ぶときに、シリーズ毎になっていて、0、1、2歳と置き場所が分かれています。ところが南部図書室は書名で索引するような形になっていてバラバラなんですよ。

お母さんがどの年齢向けの本か探しやすいような書棚の配置をしていただいた方が、より読書に親しめるのではないかと思います。

この間、私も本館の「わくわくおはなし会」に行き、あそこの児童コーナーは周りがシリーズで0、1、2歳とか、子どもの友とか科学の本とか、ある程度シリーズでまとまっていて本の対象年齢が分かりやすくなっているのですよ。

初めてのお母さんもいるので小さい子向けの本がどれか、書名だけだとよく分からなくて探しづらいと思うので、南部図書室の書棚も工夫していただいた方がいいのかなと思います。南部図書室の職員の方は親切でお聞きするとすぐ解決するのですが、お母さんたちにいろいろ聞いてみてくださいねと伝えると、「聞いていいのですか」とおっしゃるお母さんもいます。「レファレンス」が利用者に浸透してないようなので、より使いやすくしてあげた方が良くはないかという

のが感想です。

(議 長)

委員ならではの着眼点ですね。質問の確認ですが、南部図書室の話と、あとは配架が良いというのは本館の事ですよ。

(委 員)

はい。お話室も広くてとてもやりやすいです。お母さんたちがなんとなく来たときには、0、1、2歳と並んでいる棚から選ぶことができるでしょうし、そういう意味では本館の絵本のところの配架は良いです。

とても便利だなと思ったのは書名で探さなくても、その棚ならだいたい分かりますのでね。

(議 長)

見て、なんとなく開放感があって広いし見やすいので利用者に不自由がないように思いましたけどね。

(委 員)

でもやっぱり南部図書室はすごいなと思いました。

利用しやすい空間だけでなく、広報活動など色々されているので。ただ、立て直しなどしたらどうなるのかなと思います。

(議 長)

他に、ご質問はありますか。

(委 員)

読書活動推進についてですが、読書をしている子どもは何十冊も読んでいますが、読書しない子に関しては全く見向きもしないというのが現状です。

学校における図書活動ということで、こちらの周知について活動をどこでやっているのか、実際それにどれだけ子どもが反応するのか、学校自体にお知らせはしているのかという、実際どのように子どもたちの興味を惹いていくのかというところがあります。

また、夏休みの宿題と読書感想文に関しまして、「読書感想文のコツ」というチラシ、こちらは人気で、あっという間になくなって困ってるというお話はよく聞きます。

小学1年生の図書利用の案内の配布について、どのようにしているのかお聞きできればと思います。図書館においてあるだけでは配布に繋がらないのではないかという面で、学校にも直接配布して図書館に来ていただき、本に触れてほしいです。

また、どんな楽しい本も勉強というと身構えてしまうかもしれませんので、皆で楽しめる本はどのようなものがあるのか、どういった案内をされているのかお聞きしたいです。

(事務局) 毎年小学校1年生が入学すると、市内の小学校全体に、学校を通じてお子さん向けの図書館の利用案内を配布しています。その利用案内を配布すると同時に、児童担当が選んだ本のリスト、「ブックリスト」も一緒に配布しています。

(委員) それは個々の子どもに届くようになっているのですか。

(事務局) はい。市内の1年生全員に配らせていただき、利用券を作ってもらい、図書館・図書室を利用してもらえるようにということで、おすすめ本のブックリストを作って、一緒に配布しています。

(委員) これにつきましては予算が計上されていませんがそちらのほうは。

(事務局) こちらのチラシ等につきましては外注ではなく職員が作成していき、庁内で印刷等行っていますので紙代や人件費など予算でいくら、というふうには出せないの数字として掲載されていません。

毎年、1年生には必ず利用案内を配布し、夏休みの時期には、担当が選んだ夏のおすすめ本の「ブックリスト」を小学1年生～小学6年生と中学1年生～中学3年生の9学年分を印刷して、配布しています。

(委員) うちの5年生と3歳の子がいますが、3歳の子は走って、児童コーナーの方へ行きます。

本当に本が大好きで先日も10冊ほど絵本を借りました。子ども達に来てもらうには、図書館にどのようなものがあるのか、各種講座の開催について、どのくらい保護者に伝わっているのかも大切かと思えます。

(議長) 副館長のご説明の中に、小学生・中学生への利用案内等あるとのことですが、高校生に対してはそういった案内はあるのですか。

(事務局) 高校生向けの利用案内も作りましたが、高校生の分は全員分印刷して渡すというのではなく、案内のデータを市内の高校に送付し、高校を通じて利用案内をお願いしています。

(議長) 高校生の場合は市内だけでなく、遠方からの通学や、行動範囲も広がるのでね。ただ、せっかく小学校・中学校と本と親しんでいたのもっと親しんでもらいたいと思います。高校で、また離れていっちゃうのも寂しいですが、そうすると今度は大学、社会人とどんどん本離れをしてしまい、本を読まなくなってしまうかなど。

広く子どもたちが本と触れ合えるように徹底できれば良いなと思いま

す。

(委員)

市立図書館からいただいた資料は図書館の方で、随時配信やネットで、図書館だよりというのを作ってしまして、クラス庶務という内部のネットワークがあり、それに載せて生徒に配信しています。

(委員)

私は大学で勤めていたことがありまして、これは大学生の話ですが、図書館が主体となり、レポートの書き方を特に新1年生に指導していて、資料の探し方も授業で教えていました。

クラス単位になっているので、担当の先生に、次の週の授業から課題を設けてもらい、実際にレポートや論文に繋げていくのですが、その過程で図書館を必ず利用しなければいけない、そういう流れを作っていました。

やはり小学校・中学校・高校も、学校と図書館の連携が必須みたいなものでそういう連携を作っていけるとそれが理想なのかなという感じがします。

特に日本はレポートや論文を大学生になって書きなさいと言われても、そのステップが分からないんですよね。海外では、子どもの頃からそういった授業がありますので、授業の中でスキルを身に付けますが、日本はそこが弱いんですよね。

調べ学習など小学校にもあるかと思いますが、そういった中で学校の図書室プラス図書館を利用するような夏休みの感想文なども含めて、必要性を作っていき、図書館に行くきっかけづくりをしていった方が本当は良いのかなと思います。

(議長)

独協大学と、文教大学ではそういった授業を行っているということですね。

(委員)

そうですね。ただ、今はもうどこの大学も必須でやっていますね。

(議長)

それは司書資格を取るためとかじゃなくということですか。

(委員)

司書資格を取るためとかに関係なく全国の大学生がやっています。

使い方とか、論文の書き方は、教えられないと分からないのですね。

事実を調べるにはどうしたらいいか、事実が違っていると、論理が正しくても正確なものにならないので、そういったことも含めてです。

あとは、マナーとか、著作権の問題とかを含めて教える、利用者教

育という形で、Webから見られるようにするとか、いつでもオンデマンドで見られるようにするとか、そういう工夫はしています。

(議長)

ありがとうございます。参考になるお話でした。

(委員)

去年、孫が小学校1年生になりまして、いろんなコンテストに応募したのですが、その中で、図書館を使って調べものをするという内容のものがありました。それについて、これはおばあちゃんの係と言われ、孫と一緒に百科事典などで鬼について調べ、簡単なステップを踏ませて、写真も撮ったりしたのですが、小学校でも徐々に調べものなどを取り入れている昨今なのだと感じました。

やはり世の中はどんどん進んでいっているなと感じますので、決して大学に入って初めて学ぶということではなく、もっと前から指導していけば、図書館は必ず必要になってくると思いました。

(議長)

小さい頃から、小学校、中学校、高校、大学という、流れでせっかくまいた種がどんどん育っていかないと、途中で枯らしちゃうと寂しいなと思います。

(委員)

それもこれも全て日本語をどう理解するかですね。言葉からどれだけ豊かに頭の中でイメージできるか、その能力が本当にこの50年で落ちているんですよ。

スマホなど、手のひらで用を足すようになってしまったからですよ。それに対してどのように図書館は対応して行けばいいのか、今、大きい課題なのだろうと思います。

(委員)

私は、自分の子どもに何もしなかったなと思っているところですが、車の運転もしないので、子どもを図書館に連れてくるのがなかなかできなかったですね。夏休みとかに図書館までの巡回バスが回って、幼稚園に行くみたいな感じで、図書館に行けたらいいなとずっと思っていました。

(委員)

因みに移動図書館の巡回はどのようにしているのですか。私はあまり移動図書館については分からないのですが、南部・北部など図書館・図書室から離れているところを巡回しているのですか。

(事務局)

今、21ヶ所移動図書館で巡回していますが、図書館・図書室から離れているところにポイントを設定しています。お相手様の都合や調整もありますので、必ずしもポイントの場所に配置できているかとい

うとそうもいかなく、日々見直していかななくてはいけない状態です。

図書館・図書室から離れたところという方針があり、21ヶ所に加えて、市内の学童保育室には行くようにしています。

(委員)

子どもの利用はありますか。

(事務局)

そうですね。実績はあります。

(議長)

私も委員になり、移動図書館について知っておかないといけないなと思い、見てみたのですが、利用は思っていた以上に多いですね。滞在時間も1ヶ所につき、大体10～20分で、予定表があり、移動図書館がくる日時が記載してあるので、その予定表を見て来ていますよね。

様子としては日中なので、ご年配の方は確かに多いと思いましたが、あとは若いお母さんが、子ども用にと上限の10冊、トートバッグに目一杯詰めて、返しに来て、また借りて帰るという光景ですね。ただ、今お話を聞き、そこには子どもはいないですね。移動図書館は日中巡回していますからね。

(委員)

夕方もありますよね。

(議長)

小学生は学校が終わった後、夕方頃の巡回なら行けるかもしれないですね。

(委員)

いつどこを巡回しているのかは、予定表とか町内会とかで配っているんですか。

(事務局)

図書館のホームページとかに一覧表を載せています。

(委員)

その一覧表を見ていない人がすごく多いと感じます。

(委員)

うちの近くにも移動図書館が来ていましたが、前年度に利用者があまりいないので、巡回場所からはずしていただきました。子どもが小さいときは3時頃に移動図書館が来て、低学年の子が帰ってくると、「バスがもう来てる」と慌てて帰って、借りに行くという感じでした。

今は南部図書室と中央図書室の両方あり、どちらも行きやすいので、どの図書館・図書室からも、遠くて行きにくい場所があれば代わりに巡回に行ってくださいと巡回を辞退しましたが、当時は南部図書室もなく、本館も遠かったので、移動図書館が来てくれるおかげで助かりました。

夕方の巡回ポイントは、小さいお子さんから小学生まで利用しやすいのではないかと思います。

因みにうちのところは、掲示板に巡回日程の一覧表が貼ってありますので、それを見て楽しみにしていました。

(議 長)

他にご意見がないようでしたら、次の議事に移ります。

3) 協 議 事 項

(1) 令和7年度先進図書館視察候補地の検討について

(事務局)

令和7年度先進図書館視察候補地の検討について提案。

(議 長)

このことについて何かご意見ございますか。

(議 長)

今、事務局からの説明もありましたように、視察するにあたり、目的が何かということをおある程度描いてから行かないといけないと思います。

今回は昨年、視察をした南部図書室・中央図書室を見て、皆さんからの意見が多く出たので、視察をし、何か協議会としての意見の提出ができればなと考えております。

あとは、前回の視察の意見にもあったように、図書館・図書室によりサービスに違いがあるのは、勿体ない部分があると感じました。あくまでもこの協議会というのは、運営はそれぞれ指定管理者が行っていても、全ての館を視野に議論して良いと思いますので意見を出しましょう。

今回の視察の目的としては事務局の説明にあったように、駅近の図書館で時間内に帰ってこられる場所、あとはバスの日程は決まっているので先方の都合と調整ということですよ。

協議会として、2、3ヶ所候補を決め、万が一都合がつかない場合は、事務局の方で、選定していただいてという考え方にしたいと思います。よろしいでしょうか。

皆さんの意見は、反映させるべきだと思いますので、意見をお願いします。

(委 員)

私自身、他の図書館を知らないのですが、スマホでいろいろ検索して調べましたが、杉戸市立図書館の夏休みのお泊り会とか面白そうだなと思いました。

それから、小学生・中学生にも図書館に興味を持ってもらうための努力をされていますが、ブックスタートを契機に本に親しめる環境を作る

のが良いのではないかと思います。石岡市立中央図書館はブックスタートから始まり、子どもを取り込む努力があるのかなと興味をもち選びました。

あまり広い視野で見られなかったというのがありますが、色々な図書館に行ってみたいっていうのが本音です。

(議長)

今、話にあったように子どもの視点でいくのも一つだと思いますが、今回の場合はそれも含みつつ、駅近の利便性の良いところで子どもの視点も含めた何か参考になるものが得られればと思います。

(委員)

私も他の図書館はあまり行かないので、実際どんなところがあるのか興味はありますので、他の図書館の視察をし、越谷市の図書館と比べてどうなのかを見ることができると良いのかなと思います。

三鷹駅前図書館は本当に駅近で、中央図書室と似通ったところがあります。その面で、越谷の中央図書室に反映すべきところを見つけられるのか、というところもあります。また、川口市立中央図書館については、広く、長期滞在できるものになっているので、南部図書室に通じるものがあるのではと思いました。

見たいと思うものはたくさんありますが、三鷹駅前図書館について中央図書室などと比べてみるのも今後に通じるのではないかと思います。

(議長)

三鷹市の図書館はジブリと太宰という強い武器がありますが、それをどう活かしているのかについて興味もあります。繰り返しになりますが、駅近で広さはどれぐらいなのか、どのように活用されているのかと思います。

因みに川口市立図書館は広いですか。

(事務局)

やはり駅前で人口的にも、60万弱の規模ということで越谷市よりも多いです。本館という形で運営していますので、スペースもかなり広く、どちらかといえば、サンシティが駅にくっついているみたいな形です。

蔵書数も越谷市より多いですし、利用者も駅が近いので、高齢者からビジネスマンと、幅広い年齢層の方が利用されていると聞いています。

(委員)

私も長期滞在が可能な広い図書館を見学するのも南部図書室に通じるものがあるかなと思います。

(議 長)

板橋区立中央図書館も駅から近いのですか。

(委 員)

ここも駅から近いです。やはり視点として駅近を考えた方がよろしいかなと思ひまして。

板橋区立中央図書館は海外の本が置いてあり、世界の蔵書に触れられるというところも、グローバルな世の中になっていますので、一つの案ではないかなと思ひます。

(議 長)

実際に、ご覧になったことはありますか。

(委 員)

行ったことはないのですが、子どもたちがどういう反応をするのかについて興味があり、候補に挙げさせていただきました。

(委 員)

私もネット等で調べて、お送りさせていただきましたが、昨年、視察した南部図書室や中央図書室についての意見で、マイナス面の改善に繋がるような視察にできれば良いのかなと思ひました。

そういった面でやはり三鷹駅前図書館に行ってみたいなと思ひました。

行ったことはありませんが、ホームページやネットの口コミに、各種雑誌があり、フリーWi-Fiも整備され、比較的新しい蔵書が多いとの記載がありました。ホームページが充実しており、中身は本の紹介で、越谷市もやっていますが、それ以上に三鷹市は豊富で、テーマ図書やティーンズ図書、子どものおすすめ本、みんなで選ぶずっと図書館に残したい50冊、三鷹を知る資料リスト、三鷹が舞台になった本など、ホームページで紹介していました。比較的、小さいスペースでそんなに本を置けないところでも、ホームページを充実させていくことも、改善の点として考えられるのかなと思ひました。

あと、フリーWi-Fiですね。図書館でフリーWi-Fiってなかなかなくて、昨日、カスミストアに行ったら、フリーWi-Fiが使える時代は進んでいるなと感じました。Wi-Fiを含めてどのようにしているのか、音楽配信サービスの「ナクソス」に関してもこれは大学でも契約し、クラシックが多いんですよね。

ネットサービスですと、特に窓口で何かをする必要もないので、一旦ログインのIDパスワードが繋がれば、自分のスマホから聞けたりすると思うのですが、公共図書館はどのように契約等しているのかなと興味を湧きました。

私は、三鷹駅前図書館に行きたいなと思いましたが、第3希望までを決めるということで、第2第3までというのはなかなか難しいなと思いました。

杉戸町立図書館は、駅から若干遠いのですが、杉戸町は色々なことで町起こしをやっているのですよね。

夏休みの図書館お泊り会など、一步進んだ積極的な活動をどのようにしているのかなと思いました。

川口市立中央図書館は駅からは近いですが、南部図書館が充実しているので、このまま維持してくれれば満足かなと私の中で思っています。

中央図書館の改善を考えるおいう意味では、違うところの方がいいのかなと思いました。

(議長)

他、いかがでしょうか。

それでは取りまとめとして、視察先の候補地は、三鷹駅前図書館、板橋区中央図書館、川口市立中央図書館、杉戸町立図書館の順で調整していただき、その結果を伝えていただくという形でよろしいですかね。

因みに、次は8月ですかね。その時に報告していただく流れでよろしいですか。

(事務局)

はい。次の協議会の会議が8月5日(火)となります。

先程、第4候補まで挙げていただきましたので、第1候補から順に連絡し、視察可能な図書館を8月5日(火)に視察先としてよろしいか委員の皆様を確認をとったうえで、8月の会議終了後、相手方に調整させていただきます、決定となります。

(議長)

それでは、これで協議会を終了とさせていただきます。委員の皆さんのご協力を賜り、本日予定していた議事を無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。以上で議長の任を降ろさせていただきます、事務局へお返しします。

4 閉 会